

令和7年 第6回 木古内町教育委員会 議事録

開催日：令和7年(2025年)6月26日(木) 午前9時30分

会 場：木古内町立木古内小学校

出席者：教育長、教育委員各位、教育委員会事務局職員、 他

1. 開会

2. 署名委員の指名

- 工藤委員が指名される

3. 会議録の承認(第5回教育委員会議事録)

- 第5回教育委員会議事録が承認された。
- 教育長のSNS運用において、子どもの写真の取り扱いについて慎重な運用が求められ、今後ガイドラインを定めて運用することが確認された。

4. 議案第1号：教育委員会ホームページ公開に関するガイドライン(案)

- 目的・内容：ホームページ公開時の情報の正確性、セキュリティ、著作権等を遵守するためのルールを定めるもの。社会環境の変化に対応し、公開後も定期的な見直し・改善が重要とされている。
- 背景：個人情報保護法が令和5年(2023年)に改定され、令和7年(2025年)6月1日に施行されたこと、並びに木古内町条例もこれに合わせて改定されたことが提案の背景である。将来的にはAIの進展も見据えた個人データ活用の法整備も検討されているが、今回のガイドラインは現行法に合わせて運用を開始し、必要に応じて改定していく方針とする。
- 運用体制：ホームページの管理責任は教育長にあり、新規ページの開設・廃止や不適切な情報の削除権限などを明文化。
- 個人情報・著作権の保護：児童生徒の氏名、住所、電話番号、生年月日、特定できる写真・映像等の掲載は原則禁止。掲載には保護者の承諾を得て、書式を統一して管理する。著作権保護のため、引用元の明示や著作権への十分な配慮を規定。
- 議論点：

- 学童クラブの情報もホームページに掲載すべきとの意見あり。
 - 中学校の記述に関する記載について改善の余地があるとの指摘あり。
 - 決定：ガイドライン案は了承された。
-

5. 報告事項

- 第1号報告：教育長報告
 - 小学校校長は令和7年4月の着任以来、学校改革や環境改善に積極的に取り組んでいる。
 - 今年度から開始した小学校の修学旅行は、先週2泊3日の日程で無事に終了。来月の委員会で検証結果を報告する予定。修学旅行の目的は達成されたが、2泊3日の日程は小学生にとって体力面・自己管理面で負担が大きい課題も認識された。
 - 国の教育政策では、2030年に向けた学習指導要領改定の議論が進行中。個別最適な学びと協働的な学びの一体的推進、生成AI活用による学校DXが重点施策となっている。町でもICT活用が進み、今後も生成AIを活用して「生きる力」を育む教育を推進する方針。
 - 木古内町らしい特色ある教育として、修学旅行先を地域に根ざした場所とし、地域社会との連携や対話の精神を大切にする教育を進めていく。
 - 小中学校間の連携・情報共有を強化し、4月に集中する運動会や遠足等でトラブルがないよう連携体制を見直し。不審者対応も含め連絡体制の再確認を行った。
- 第2号報告：第2回定例町議会に上程した動産の取得について
 - 小中学校の学習用コンピュータ等173台の取得について報告。
 - 取得価格は9,515,000円。取得先は北海道共同調達・約束事協同体である東日本電信電話株式会社および東日本T&T。
 - 国の補助金対象額は9,051,500円、補助金額は5,096,000円。
 - 納入時期は未定で、決定次第改めて報告する。
- 第3号報告：令和7年度第1回小中連携事業検討委員会議事録について
 - 目的：少子化・人口減少による学校環境の変化に対応し、小中連携の最適な形を検討。
 - 主な議論：

- 「小中一貫教育」の課題として、中1ギャップの回避、教員の経験・確保、ICT活用などが挙げられた。
 - 義務教育学校化(一体化)や現行通りの連携の継続など、複数案を検討する。
 - 専門家だけでなく地域住民からの多様な意見も取り入れ、木古内町にとって最善の形を模索する。
 - 施設の統合のみならず、「何をしたいのか」「町の教育はどこへ向かうか」といった教育理念の確立が重要との意見あり。
- 今後の予定：次回は7月11日(金)開催予定。優先課題の絞り込みと解決策の検討を進める。検討委員会は全5回を予定し、年度内に教育委員会へ提言書を提出予定。
- 第4号報告：令和7年度第1回部活動地域展開検討委員会議事録について
 - 目的：地域における部活動の現状と課題を議論し、国・道の動向を共有。
 - 検討プラン：学校完結型、広域連携方式、少年団方式、総合型地域スポーツクラブ方式など複数パターンを紹介。
 - 現状把握：指導者不足、活動場所・移動手段の確保、保護者・地域の費用負担等が課題として挙げられた。
 - アンケート調査：小中学生・保護者・教職員を対象に6月23日～6月30日に実施中。
 - 関連協議会：6月25日設立の渡島西部4町部活動地域展開推進協議会とも連携し、町内の望ましい部活動の形を模索。
 - 今後の予定：アンケート結果をもとに、次回7月11日の委員会で議論を深める。
-

6. その他

- 第60回北海道市町村教育委員会研修会について
 - 7月17日(木)、札幌市教育文化会館で開催予定。
- ALT等派遣事業について(第2回定例町議会上程案件)
 - 事業概要：町づくり未来課が地域活性化企業と連携し、外国語指導助手(ALT)の活用を進める。
 - JPホールディングスによるALT派遣事業の提案があり、JETプログラムのALTとは異なり、教員免許を持つ外国人が派遣される予定。

- 目的：子どもたちが英語に抵抗感なく親しみ、自信を持つことを目的とする。
 - 派遣元：主にフィリピンからの派遣を予定。
 - 対象範囲：小中学校のみならず、将来的にはこども園への派遣も検討。
 - 財源：総務省の事業活用により、地方交付税充当予定（1人あたり約480万円加算）。
 - 議論点：
 - JPホールディングスの信用性に関する確認。
 - JETプログラムALT(主にアメリカ人)との文化・発音の違い、両者併用の可能性。
 - 予算や、町職員がALT業務委託に関与しなくなる点への疑問。
 - その他協議事項：
 - 総務課長より、職務上で知り得た情報の漏洩防止について改めて注意喚起。
 - 通学路の安全に関し、中学校近くの坂道でヘルメット未着用・速度超過の生徒指導の必要性が指摘された。
-

次回会議日程と予定内容

- 次回定例会：令和7年(2025年)7月24日(木)午前9時30分
- 会 場：木古内中央公民館
- 予定議題：
 - 修学旅行の事後報告・検証
 - 小中連携・義務教育学校化に関する進捗報告
 - 部活動地域展開の方針協議
 - 第2回木古内町小中連携事業検討委員会の進捗状況
 - 第2回木古内町部活動地域展開検討委員会の進捗状況

7. 閉会